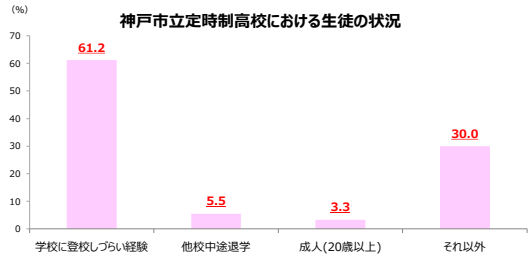


神戸市立定時制高校の今後のあり方及び方向性について (参考資料 1)

1. 中途退学者への対応について



R1 定時制高等学校に関する調査(神戸市独自調査)より

1. 中途退学者への対応について

神戸市立定時制高校における中途退学者の主な退学理由

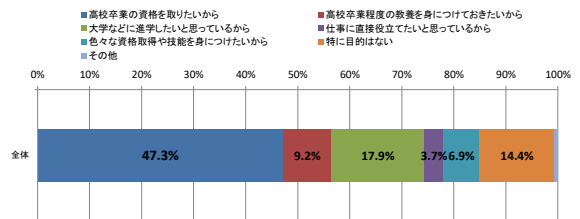
- 人間関係がうまく保てない
- 学校に馴染めない
- 学業不振
- 出席時数不足
- 問題行動
- もともと高校生活に興味がない
- 他校へ転出
- 家庭の事情
- 仕事に専念

R1 神戸市立定時制高校に関する調査(神戸市独自調査)より

1. 中途退学者への対応について

勉強の目的について(神戸市立定時制高校在籍生徒の回答)

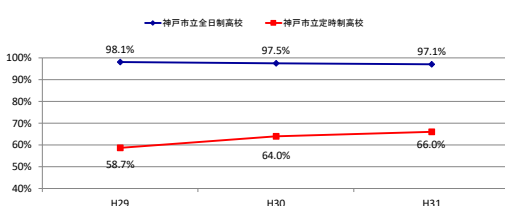
Q: 今、学校で勉強している目的を下記の中から一つ選んでください



R1 定時制課程生徒アンケート(神戸市独自調査)より

1. 中途退学者への対応について

神戸市立高校における卒業率の推移



R1 神戸市立定時制高校に関する調査(神戸市独自調査)より

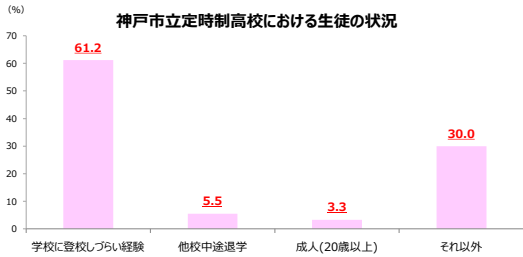
1. 中途退学者への対応について

神戸市立定時制高校について

- 周囲との信頼関係構築に十分な時間が必要(中・高)
- 成功体験が少なく、自分に自信を持ってない: 自尊心が高くない(中・高)
- 他者に喜んでもらったり、役に立った経験が少ない: 自己有用感が高くない(中・高)
- 家庭環境や経済面で課題がある場合は、学校だけの対応では困難な状況にある(中・高)
- 様々な入学動機・学習歴があるため、学力差が大きい: クラス一斉授業が難しい(高)
 - 在籍する生徒は、勤労意欲が持たにくい状況にある(高)
 - 教員は、多様な生徒に対する専門性が乏しく対応が困難な状況にある(高)
- 学校に登校しづらい経験をした生徒は、午前部や昼間部への進学希望が多い(中)

神戸市立定時制高校に関する教員からのヒアリング(神戸市独自調査)より

2. 昼間部への対応について



R1 定時制高等学校に関する調査(神戸市独自調査)より

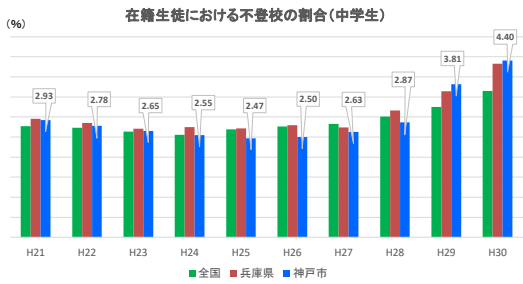
2. 昼間部への対応について

神戸市立定時制高校について

- ・ 周囲との信頼関係構築に十分な時間が必要(中・高)
- ・ 成功体験が少なく、自分に自信を持ってない:自尊心が高くない(中・高)
- ・ 他者に喜んでもらったり、役に立った経験が少ない:自己有用感が高くない(中・高)
- ・ 家庭環境や経済面で課題がある場合は、学校だけの対応では困難な状況にある(中・高)
- ・ 様々な入学動機・学習歴があるため、学力差が大きい:クラス一斉授業が難しい(高)
 - 在籍する生徒は、勤労意欲が持ちにくい状況にある(高)
 - 教員は、多様な生徒に対する専門性が乏しく、対応が困難な状況にある(高)
- ・ 学校に登校しづらい経験をした生徒は、午前部や昼間部への進学希望が多い(中)

神戸市立定時制高校に関する教員からのヒアリング(神戸市独自調査)より

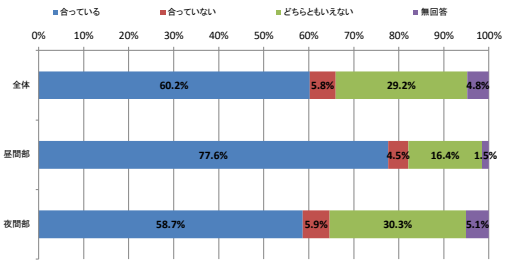
2. 昼間部への対応について



H21~H27 学校基本調査「理由別 長期欠席生徒数」(文科省)より
H28~H30 児童生徒の問題行動・不登校生徒指導上の諸問題に関する調査(文科省)より

2. 昼間部への対応について

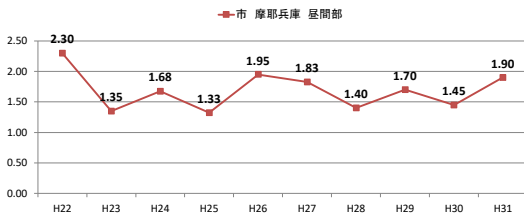
Q: 今の学習時間帯は自分の生活スタイルに合っていると思いますか。当てはまるもの一つを選んでください



R1 定時制課程生徒アンケート(神戸市独自調査)より

2. 昼間部への対応について

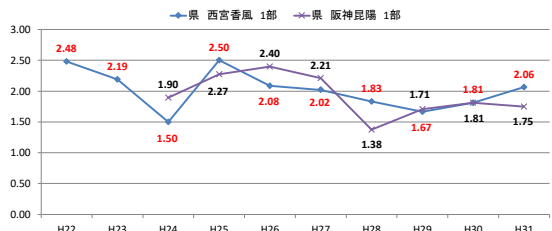
神戸市立摩耶兵庫高校昼間部の受検倍率の推移



H22~H31 学力検査合格状況(兵庫県)より

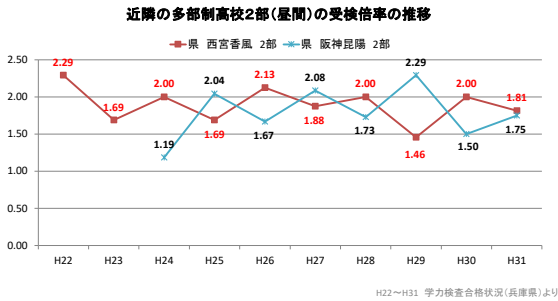
2. 昼間部への対応について

近隣の多部制高校1部(午前)の受検倍率の推移



H22~H31 学力検査合格状況(兵庫県)より

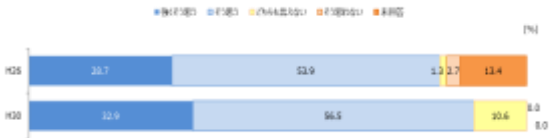
2. 昼間部への対応について



3. 三修制について

三修制について (神戸市立中学校進路担当教員の回答)

Q: 定時制課程は3修制により、3年間で卒業することが可能です。3修制を希望する生徒は多いと思いますか。

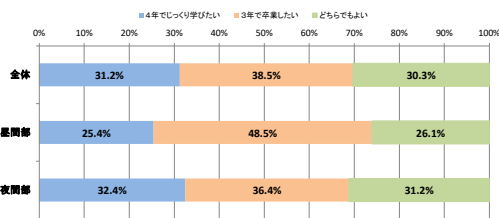


H26・H30 定時制教育のあり方検討に関するアンケート調査(神戸市独自調査)より

3. 三修制について

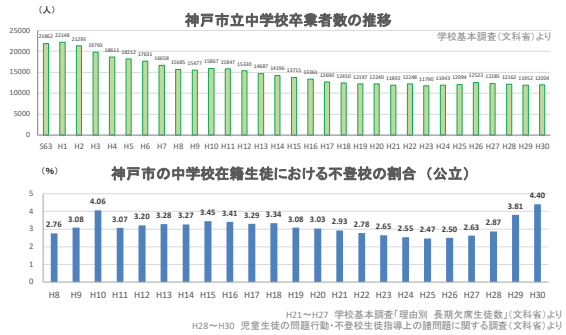
三修制について (神戸市立定時制高校在籍生徒の回答)

Q: 今の学習期間(4年間)についてどう思われますか。当てはまるものを一つ選んでください



R1 定時制課程生徒アンケート調査(神戸市独自調査)より

2. 昼間部への対応について



3. 三修制について

神戸市立定時制高校について

- 学びなおしが必要な生徒にとっては、4年間で体系的に学ぶ教育課程は、とても重要である(中・高)
- 学習意欲が高い生徒については、3年間で卒業できる教育課程が必要である(中・高)
- 生徒の中には、高卒認定試験を利用して、大学進学するケースがある(3年修了後に中途退学)(高)
- 教科指導以外にも、社会性や自尊感情を高めるための教育支援が、とても重要である(中・高)

神戸市立定時制高校に関する教員からのヒアリング(神戸市独自調査)より

3. 三修制について

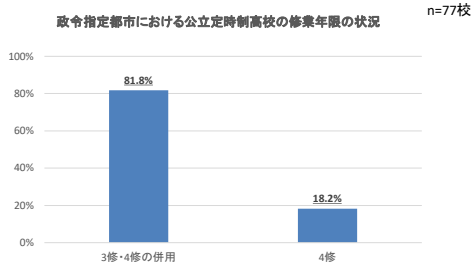
高校卒業程度認定試験(旧大学入学資格検定)について

高等学校卒業程度認定試験は、様々な理由で、高等学校を卒業できなかった者等の学習成果を適切に評価し、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があるかどうかを認定するための試験である。

合格者は大学・短大・専門学校を受験資格が与えられる。また、高等学校卒業者と同等以上の学力がある者として認定され、就職、資格試験等に活用することができる。(大学入学資格検定(大検)は、平成17年度より高等学校卒業程度認定試験に変更。)

高等学校卒業程度認定試験(旧大学入学資格検定)について(文科省)より

3. 三修制について



政令指定都市における公立定時制高校の修業年限の状況(神戸市独自調査)より

3. 三修制について

学校外における学修の単位認定について

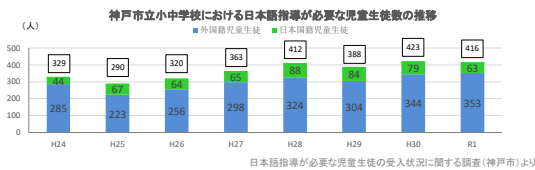
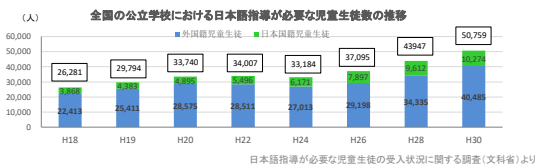
知識及び技能に関する審査に係る学修の単位認定 (学校教育法施行規則第98条第2号)
校長は、生徒の知識及び技能に関する審査に係る学修を高等学校における科目の履修とみなし、単位を与えることができる。

ボランティア活動等に係る学修の単位認定 (学校教育法施行規則第98条第3号)
校長は、生徒のボランティア活動等に係る学修を高等学校における科目の履修とみなし、単位を与えることができる。

高等学校卒業程度認定試験の合格科目の単位認定 (学校教育法施行規則第100条第1号)
校長は、生徒が在学中又は入学前の高等学校卒業程度認定試験の合格科目(従前の大学入学資格検定の合格科目を含む)に係る学修について、それに相当する高等学校の科目の履修とみなし、当該科目の単位として認定することができる。

学校外における学修の単位認定(文科省)より

4. 日本語指導が必要な外国籍生徒について



神戸市立定時制高校に関する教員ヒアリング(神戸市独自調査)より

4. 日本語指導が必要な外国籍生徒について

神戸市立中学校における外国籍児童生徒について

- ・ 外国籍児童生徒は増加傾向にあり、それに伴い、日本語指導が必要な外国籍児童生徒も増加している(中)
- ・ 多国籍化している(中)
- ・ 日本語指導や取り出し指導が必要である(中)
- ・ 日本語(特に漢字)が読めない場合、ふりがなのルビをふった教材を準備している(中・高)